



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町12月議会定例会が17日から19日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

- 12月議会定例会に  
提出した主な議案**
- 八峰町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について
  - 八峰町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定について
  - 八峰町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について
  - 八峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
  - 八峰町立学校設置条例の一部を改正する条例制定について
  - 八峰町松波健康広場条例を廃止する条例制定について
  - 平成26年度一般会計補正予算9933万1千円を追加  
主な歳出
    - 生活バス路線及びマイタウンバス維持費補助金、ホームページ更新業務委託料、秋田県町村電算システム共同事業組合負担金、稲作農家緊急支援補助金、統合小学校改修工事及び統合中学校改修工事の各実施設計業務委託料、林業施設災害復旧工事費
  - 平成26年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算
  - 平成26年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算
  - 平成26年度八峰町公共下水道事業特別会計補正予算
  - 平成26年度八峰町農業集落排水事業特別会計補正予算

## 行政協力員会議 自治会からの要望は47件



秋の行政協力員会議を11月28日峰栄館で開催し、各自治会から出された道路改良などの要望47件について、それぞれ町の考え方を示し、意見交換を行いました。要望に対する意見交換のほか、町からは町道の冬期間閉鎖箇所や街路灯のLED化、町の総合振興計画策定のためのアンケート調査の実施などを説明し理解を深めていただきました。

## バス乗車券類購入補助事業 販売枚数が1年間で910件

昨年10月から今年の9月末までのバス乗車券類購入補助事業の購入件数は、1,019件、販売額は541万6千円となっており、前年に比べ販売件数で106件、販売額で97万3千円伸びており、順調に利用されているものと思っております。

また、秋田県生活バス路線等維持費補助金は、運営収支がまとまり補助金額が確定しましたが、燃料費の高騰や車両維持費の増加などで経常費用の低減が進まず、補助金の申請額は、岩館線で27万2千円減額となったものの、大久保線は前年に比べ72万円の増加となっています。

## 平成27年度に少子化人口減少対策で 町の総合戦略を策定予定

少子化人口減少対策について、去る11月21日、国において、地方創生の基本理念、国、都道府県、市町村の地方創生総合戦略の作成等を定めた「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、同月28日に公布されました。

これによると、市町村は、今後、発表される国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じた、まち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画（市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略）を定めるよう努めなければならない、

## 八森子ども園新園舎が完成 開園時間も12時間に延長

2年に亘った建設事業を完了し、去る11月1日、議員の皆様をはじめ、関係者、建設関係者、並びに自治会長や保護者のご出席をいただき、新園舎落成記念式典を開催しました。午後からは一般公開により百数十名の皆様がおいでになりました。そして、次の日の2日及び3日に引越し作業を終了させ、11月4日無事開園することができました。これまで、たくさんのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。新しい園舎では78人の乳幼児が、広く明るい部屋の中や遊戯室で元気に楽しく過ごしています。

また、統合を機に、開園時間を朝夕30分ずつ延長し、午前7時から午後7時までの12時間としたところです。これは、地区によって子ども園が遠くなったところもあることから、送迎時間の利便性や保護者のニーズを考慮して、他の2つの子ども園に先んじて延長保育を実施したものです。今後は、他の2つの子ども園についても、同様のサービスを検討、実施して参りますので、ご理解いただきますよう、よろしくお願ひします。

## 農地中間管理事業への申込状況は 貸し手が18農家、借り手が33農家

秋田県が農地中間管理機構に指定した公益社団法人・秋田県農業公社では、7月から農地の貸し手や借り手の募集を開

と規定されており、本町としては、人口動向や将来人口シミュレーション等の分析を行うなど、「八峰町人口ビジョン」の作成に着手するとともに、6月に庁舎内に設置した少子化人口減少対策会議や議会、産業団体等からの意見、提言も参考に、平成27年度中に「八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その計画に基づき、少子化、人口減少に関する諸施策を展開したいと考えています。

## 自殺者ゼロの町を目指し 自殺予防フォーラムを開催

11月8日に文化ホールにおいて「八峰町自殺予防フォーラム」を開催しました。最初におはなしの会「かもめ」の代表である山本百合子さんから「こころの紙芝居」と題してオリジナル紙芝居を上演していただくなど、和やかな雰囲気です。フォーラムが始まりました。

続いて、うつ病などの精神疾患の専門的な立場の東京女子医科大学病院教授の坂本薫氏から「地域みんなの力がいのちを守る」と題し、講演をいただきました。改めて「笑顔がこぼれるやすらぎのまち」づくりを目指すことを確認しながらフォーラムを終えることができました。今後とも自殺者ゼロの町を目指し、関係機関や団体等と連携しながら自殺予防対策事業に取り組みたいと考えています。

始まりました。町では事業の仕組みや内容について、広報のほか説明会を開催し農家への周知に努めてきました。10月中旬の説明会は、八森地区がファガスで、峰浜地区が峰栄館で開催され、合わせて101名の農家が参加し、農業公社の担当者や指導員の方から詳しく説明していただいたところです。

これまでの申し込み状況は、「農地を貸したい」が18農家で16・8ヘクタール、「農地を借りたい」は33農家で256ヘクタールとなっています。今後、借り手の選定や賃借料など諸条件の協議が整い次第、機構との契約手続きが進められる予定となっています。



## 八峰町白神特産品フェアが好評 アンテナショップ開設も検討

9月11日から9月14日、東京都品川区の武蔵小山商店街のレンタルショップを借りて開催した「八峰町白神特産品フェア」について報告します。

町の単独開催ということもあって売れ行きを心配する声もありましたが、八峰町の野菜、果物、林産物、海の幸などが飛ぶように売れ、早々に品切れ状態となる商品も続出しました。

物産販売だけでなく、町の観光や定住促進等もPRできたことから、継続的に都内でアンテナショップが開設できないか検討したいと考えております。